

新年のご挨拶



理事長 金井 良碩

能登半島地震、羽田空港の衝突事故と立て続けの惨事で幕開けした令和6年ですが、西宮では快晴に恵まれ穏やかな新年を迎えることができたのは幸いでした。コロナの感染はまだまだ油断できません。昨夏から徐々に行事は復活し、本来のセンター活動に戻り始めています。昨秋から「インボイス制度」が始まり、本年11月からは「フリーランス新法」が施行される予定です。新法の制度設計が不透明であり、その対応に苦慮しているところです。シルバー人材センターを取り巻く環境は益々厳しくなっていくものと認識しています。そんな中ではありますが、会員の皆さまには、「共働・共助」の理念のもと、引き続き、センター活動にお力をお貸しいただきたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の委員会活動(5)

安全・適正委員会

安全・適正委員会は、H委員長(理事)、H副委員長(理事)、S会員、T会員、U会員の総勢5名のメンバーで活動しています。委員会としては、会員の皆様の健康維持、安全就業、適正就業に関する情報の提供や講習会、規程の見直しなどに取り組んでおります。

- 健康面では・・・「熱中症アラートの発令」と熱中症対策が大きな問題となりました。
- 安全面では・・・転倒による怪我が継続して発生しています。特に自転車での転倒は、骨折などの重症につながります。安全運転を心掛けてください。
- 適正就業では・・・「適正就業基準」の見直しを行い、本年4月に改正を予定しております。

『広報紙配布責任者会議』の開催

12月19日、センターにて本年度2回目の『広報紙配布責任者・副責任者会議』を開催しました。11月までのセンターの「事業実績報告」と「広報紙の配布実績報告」及び、「市民の方からの要望・苦情」などの報告がありました。苦情といえる内容は殆どなく、皆様の配布業務の精度の高さをうかがわせる内容でした。配布責任者からは、「市政ニュース」と「議会だより」の同時配布を各々別に配布したいとの要望が強くあり、現在、市の広報課に要望中であるとの報告が事務局からありました。その他では各地区の情報交換が行われました。(地区活動委員会)



「スマホ相談会」開催中

令和6年1月から就業情報や配分金明細書などをスマホで確認できる『Smile to Smile』の本格運用が開始します。

これまでに『スマホ講座』を受けられなかった方や『Smile to Smile』の設定方法の苦手な方を対象に、今後も『スマホ相談会』を毎週開催します。講座と違い講師がマンツーマンで対応しますので、ぜひこの機会に『Smile to Smile』のIDを取得して、デジタル化の便利さを体験してみてください。開催は毎週火曜日、申し込みは同封チラシをお読みください。(デジタル化整備促進チーム O.H会員)

★「新会員証」の写真変更募集!

令和6年度から会員証は永年使えるプラスチック製を送ります。紛失などで再発行の場合は、有料となりますので大切にお使いください。顔写真の撮り直しを希望される方は総務課まで。



12月末の 事業実績 ※()は昨年比	● 会員数：2,292人(+16人)
	● 事業高累計(含 派遣)：551,043千円(+21,457千円)
	● 就業実人員(含 派遣)：1,766人(+51人)

センター 無事故 継続日数	● 就業中：7日
	● 就業途上：89日 (2023年12月31日現在)



●安全・適正委員会からのお知らせ●

シルバーの重点テーマは「健康」と「安全」

健康

★冬場の健康管理について

寒さが増し、体調不良を感じることはありませんか。冷えや乾燥などの環境変化に身体機能がついていかず、体調不良につながりやすいため、しっかり対策を講じましょう。冬場は、気温差による血管の収縮、心身にストレスがかかり、神経の緊張状態が続くことで体調不良などを引き起こしやすくなります。頭痛や意欲低下など夏バテに似た症状が見られることから「冬バテ」、「冬季うつ病」とも呼ばれています。

【健康管理の注意点】

寒暖の差や冷えによる免疫力低下、脱水症状、感染症などに注意が必要です。運動不足に気をつけ、栄養のバランスのとれた食事を摂りましょう。

『こども将棋大会』開催

決勝戦では50分の長い試合に！

12月3日、将棋同好会「一手会」の協力のもと、恒例の『子ども将棋大会』を広田山荘で開催しました。参加者は17名で対象は小学生以下。



始まるまで元気にはしゃいでいた子供たちは、いざ将棋盤を挟むと真剣な表情になり、会場は普段には無い雰囲気になっていました。

決勝戦ではなかなか決着がつかず、50分という長い試合の結果、4年生が優勝しました。

(イベント推進委員会)

『着物着付け講習会』

着物姿に大盛り上がり!!

12月13日、広田山荘にて『着物着付け講習会』を開催しました。参加者10名、講師は資格を持つH会員です。

コロナでお出かけの機会もなく、久しぶりの着物姿に皆さん大盛り上がり。着物を着たまふ帰られた方々もいらっしやいました。自分や家族のために習得したい方が大多数ですが、今後、「着付け」を仕事にしたいと考えておられる方も複数あり、就業に繋がる講習会となりました。(会員増強委員会)

●地区コーナー●

鳴尾南地区

鳴尾南地区会員交流会



12月6日、『鳴尾南地区会員交流会』を開催しました。

28名の参加で、「情報共有」「親睦」「元気」を一気に深めるために、“あの時代に、もう一度”と題し、ゲストに「ヒロタdeうたごえ」の音楽家・阪上和子さんを迎え、懐かしい歌をみんなで合唱しました。

また会員が単独ソロで熱唱する場面もあり、会場を盛り上げました。

来年も開催して欲しいとの声も上がり、有意義な懇親会となりました。(鳴尾南地区リーダー K.A会員)

西宮の文学散歩⑨

テニスクラブの南には、野鳥が飛来する海岸が。



香櫨園
テニスクラブ

1982年に出版され、映画やドラマにもなった小説『青が散る』(宮本輝作・神戸市生まれ)に登場するテニスクラブ。

主人公らが、香櫨園駅から夙川の桜並木を歩き、試合会場に向かうシーンの後、「香櫨園テニスクラブ」は、阪神間では最も大きな名門テニスクラブだった、と紹介しています。

コート南側には、かつて「香櫨園海水浴場」として親しまれていた海岸(1965年に閉鎖)がありました。今は海も綺麗になり、ウィンドサーフィンを楽しむ人が集い、野鳥が飛来する楽園へと姿を変えています。(広報委員会)

---《お詫び》---

令和5年12月号のグラウンドゴルフの日程が11月14日となっていました。正しくは16日です。お詫び申し上げます。(事務局)